

先輩社員に聞く電気工事の魅力



現場代理人を目指すには、技術的なことも理解しなければならない

山本大賀

山梨電設興業株式会社
工事部

2016年3月卒業 同年4月入社

出身校 東京都立中央・城北職業能力開発センター
赤羽校

――就職活動はどのようにして、進めていきましたか？

山本 各企業の求人票から興味のある企業をピックアップし、詳しく知りたい時は、校内にある資料室で内容を把握し、必要であればホームページも確認して候補を絞り込んでいきました。

――就職活動を続ける中で、担任の先生に相談することはあったのでしょうか？

山本 興味のある企業が見つかった際に、どのような対応を取れば良いのかなど、いろいろと相談しました。相談を重ねていくことで、就職先を選ぶ判断基準が明確になるなど、就職活動を続ける上で、大きく役立ちました。

――就職活動は対象を電気工事会社に絞って行ったのでしょうか？

山本 電気に関しては高校時代から興味があり、深く電気工事のことを勉強したいという思いで、東京都立中央・城北職業能力開発センター赤羽校に入学したので、電気工事会社以外の就職先はまったく考えていませんでした。

――山梨電設興業に入社した動機を教えてください。

山本 何社かの企業説明会に参加するなどして、就職活動を続けていたのですが、なかなか就職先を決められずにいました。何とかしなければと思い担任の先生に相談したところ、ピックアップしていただいたのが山梨電設興業でした。

先生の話聞くなかで、就職先に対する自分自身の判断基準と合致する部分が多かったので、企業説明会に参加するための手配をお願いしました。

――実際に企業説明会へ参加した際の印象と、事前に聞かされていた内容にギャップはありましたか？

山本 事前に聞かされていた印象どおりでした。人事の

方からさまざまな話を聞く中で、会社の方向性や社長の経営に対する考え方などに共感する部分が多く、強く興味を惹かれたことを覚えています。

――現在はどういう仕事を担当されていますか？

山本 新築のマンションで電工をしています。それまでは改修工事の現場が中心だったのですが、今回初めて新築の現場を担当することになりました。まだ、分からないことも多いのですが、現場には常に先輩社員の方がおり、分からないことがあれば聞いて欲しいと言っているのので、非常に助かっています。

――山梨電設興業は管理業務が主体の会社ですが、電工をされているのは会社の方針なのでしょうか？

山本 現場代理人を目指すためには、技術的なことも理解していなければならないという方針のもと、最初の数年間は電工を経験します。今は、早く技術レベルを上げて、仕事の精度を高めていくことを目標にしています。

――現場代理人にはコミュニケーション能力が求められますが、現時点ではどのように感じていますか？

山本 先輩の仕事を見てみると、やはりコミュニケーション能力の重要性を感じます。実際に経験しなければ理解できないことも多いと思いますので、今は先輩の仕事ぶりを意識して見るようにしています。

――仕事をしている中で、どのような時にやりがいを感じますか？

山本 電気が点灯した時です。自分で実際に施工しているので、喜びはひとしおなのですが、現在担当している新築の現場で電気が点灯した時は、初めての現場ということもあり、これまでとはまったく異なった喜びを感じられるのではないかと思います。